

# 上小っ子 校長室だより

2023年7月20日 発行

—校長から保護者の皆様へのメッセージです—

上郡町立上郡小学校 校長 森中 誠

梅雨明けも間近ではありますが、真夏さながらの猛暑にぐったりしておられる方も多いのではないのでしょうか。それでも運動場の草たちは元気です。抜いても抜いても茶色の運動場に緑の葉をピンと伸ばして大きくなります。まったく大したものです。そして、こんなにも暑いのに子どもたちも元気です。ただし、夏休み中もくれぐれも熱中症や水の事故などにはお気をつけください。



さて、無事に1学期の終業式を迎えることができました。いろいろとご協力いただき、ありがとうございました。子どもたちにとっては、楽しい夏休みです。多くの催し物や体験活動が再開され、多くの経験を積むことができる夏休み期間となるのではないのでしょうか。職員は、授業や成績処理が終わり、ホッと一息ですが、コロナ時期とは違って多くの研修が組まれており、勉強、自己研鑽の期間となります。それぞれ心と体を休めるとともに、内面的な高まりを持って、2学期に再会したいと思います。

夏休み中に、いろいろな活動や遊び体験とともに少し時間を割いてほしいなあと思うことに読書があります。今年の教育活動の目標の一つに、「読書活動の推進」を掲げています。朝読書を行うとともに、各学年で読書の目標冊数を決めて、多く本を手にとることに取り組んでいます。また、図書館支援員の高橋先生もいろいろと子どもたちの読書欲をかき立てられるよう工夫してくださっています。

私事の読書の経験談を一つお話しします。

私には、愚息が4人おりまして、賑やかな男4兄弟で、小さい頃は毎日家の中はそれとはなかなか大変でした。ただ、本を読むことは大事だという認識はあって、寝る前の読み聞かせなどを妻はやっておりました。私もやるのですが、トーマスの絵本は何でこんなに分厚いのかと思いながら読んでいたのですが、子どもは何度も何度も飽きずに同じ本をねだるのです。ああ、薄っぺらい紙だとそりやすぐにボロボロになる。だから、こんなに頑丈なのかと納得しながら読んでいたことを思い出します。

また、絵本は高いのでよく上郡町の図書館に本を借りに行っていました。末っ子は小さかったのですが、私も含めて家族6人分の図書カードを作り、1枚で5冊まで借りられるので計30冊をでっかいトートバッグを持って一気に借りていました。子どもたちには好きな本を選ばせて、大人も面白そうな本や興味がわきそうな図鑑や宇宙や雲の写真集みたいなものもふくめてドサッと借ります。そして、家の中に置いておくのです。全部が全部、子どもたちが読むわけではないですし、忙しくてあっという間に2週間が過ぎて、もう一度同じ本を借りることもよくあるのですが、家の中にいろんな本がある環境は大事だと思います。もしかしたら、子どもたちの感覚に何かピンとくる本と出会うかもしれません。大いに図書館を利用していただけたらと思います。

この夏休み、ちょっと親子でテレビやスマホ、ゲームを30分ほどお休みにして静かな読書タイムをつくるのもいいと思います。本も含めていろいろな出会いがある夏休みになることを願っています。

